

あそぶ、まなぶ、いきる。

山と溪谷社

An **impress** Group Company

各 位

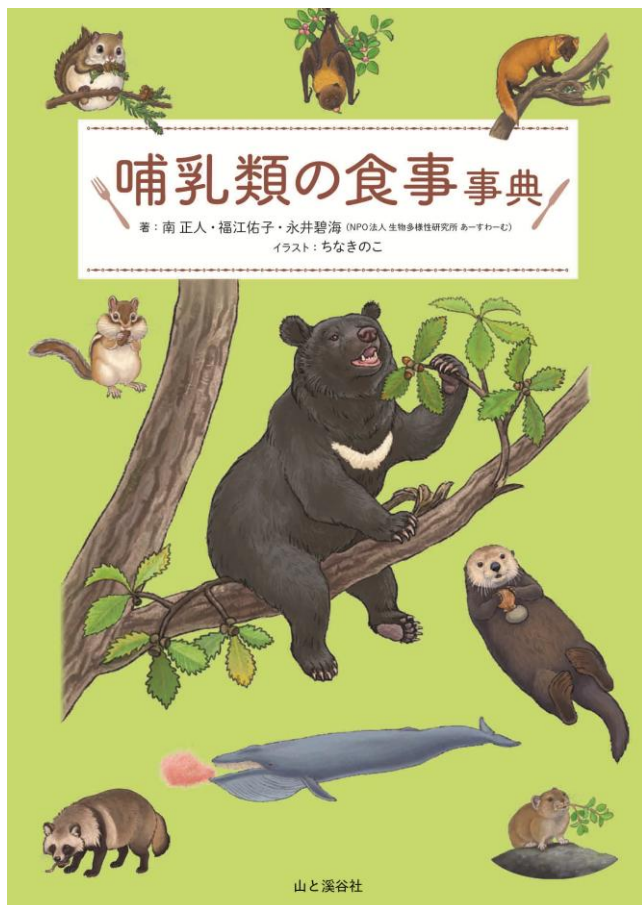
2026 年 1 月 19 日

株式会社 山と溪谷社

<https://www.yamakei.co.jp/>

旬なものを食べるツキノワグマ、ミミズを頭から食べるモグラ。日本の動物たちの生きざまを「食」からひも解く、『哺乳類の食事事典』発売！

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二宮宏文）は、2026 年 1 月 19 日に『哺乳類の食事事典』（著：南 正人・福江佑子・永井碧海（NPO 法人 生物多様性研究所 あーすわーむ）イラスト：ちなきのこ）を刊行いたします。



本書は、日本に暮らす哺乳類約 40 種をピックアップし、彼らの食事メニューと「ミミズを頭から食べるモグラ」や「地面を掘り返して獲物を探すイノシシ」など、普段なかなか見ることができない野生動物たちの食事の瞬間を人気哺乳類イラストレーター・ちなきのこさんによる生き生きとしたイラストで再現しました。

解説は、哺乳類の専門家で野生動物の保全事業を行う NPO 法人あーすわーむのメンバーが担当。動物たちの「食事」の背景にある生態や知恵を面白く解説しており、解説を読むことで動物たちが自然の中でどのように食事をし、命を繋いでいるのか、その生態が見えてきます。

イラストレーター・ちなきのこさんが、コミカルかつ愛らしさを感じるタッチで、日本に生息する絶滅危惧種をイラストレーションした。絶滅危惧種とは、絶滅の恐れが大きい生物種を指す。絶滅危惧種は、絶滅の恐れが大きい生物種を指す。絶滅危惧種は、絶滅の恐れが大きい生物種を指す。






「里」「山」などエリアごとに約 40 種の動物たちの食事と、食事に関わる生態を紹介したほか、巻頭

る基本的な知識を紹介しました。また「貯食するか、体に蓄えるか」「食べ物と歯の形」「食べ物をめぐる人と哺乳類のかかわり」など、一歩踏み込んだ専門的な知識をコラムとして分かりやすく解説しています。

●**食生活の多様性**

動物の食生活は、その生活環境や体の構造によって多岐にわたります。例えば、草食動物は植物を、肉食動物は動物を、雑食動物は植物と動物の両方を食べます。また、同じ種類の動物でも、生活環境によって食生活が異なる場合があります。

●**消化器官の構造と機能**

動物の消化器官は、その食生活に合わせて進化しています。例えば、草食動物は長い消化管と複雑な胃構造を持ち、植物の繊維を消化するために適応しています。一方、肉食動物は短い消化管と鋭い歯を持ち、動物の肉を消化するために適応しています。

●**食生活と体の関係**

動物の食生活は、その体の構造と機能と密接に関連しています。例えば、草食動物は長い消化管と複雑な胃構造を持ち、植物の繊維を消化するために適応しています。一方、肉食動物は短い消化管と鋭い歯を持ち、動物の肉を消化するために適応しています。



動物の食生活は、その生活環境や体の構造によって多岐にわたります。例えば、草食動物は植物を、肉食動物は動物を、雑食動物は植物と動物の両方を食べます。また、同じ種類の動物でも、生活環境によって食生活が異なる場合があります。

食

動物の食生活は、その生活環境や体の構造によって多岐にわたります。例えば、草食動物は植物を、肉食動物は動物を、雑食動物は植物と動物の両方を食べます。また、同じ種類の動物でも、生活環境によって食生活が異なる場合があります。

消化器官の構造と機能

動物の消化器官は、その食生活に合わせて進化しています。例えば、草食動物は長い消化管と複雑な胃構造を持ち、植物の繊維を消化するために適応しています。一方、肉食動物は短い消化管と鋭い歯を持ち、動物の肉を消化するために適応しています。

食生活と体の関係

動物の食生活は、その体の構造と機能と密接に関連しています。例えば、草食動物は長い消化管と複雑な胃構造を持ち、植物の繊維を消化するために適応しています。一方、肉食動物は短い消化管と鋭い歯を持ち、動物の肉を消化するために適応しています。

里の哺乳類

この章に出てくる動物たち

| | | | |
|-----------------|-------------|------------|--------------------|
| アカネズミ・ヒメネズミ P22 | ハタネズミ P26 | ミヤマネズミ P28 | ニホンリス・エゾリス P30 |
| アカネズミ P34 | タヌキ P36 | アナグマ P40 | イタナグサ P44 |
| アライグマ P46 | ハクビシン P48 | ムササビ P50 | ニホンモモンガ・エゾモモンガ P54 |
| ニホンウサギ P56 | ニホンインシシ P60 | モグラ P62 | リス P64 |
| | | | コウモリ P66 |

【仕様など】

書名：哺乳類の食事事典

著：南 正人・福江佑子・永井碧海（NPO 法人 生物多様性研究所 あーすわーむ）

イラスト：ちなきのこ

発売日：2026 年 1 月 19 日

定価：2,090 円（本体 1,900 円＋税 10%）

【目次】

はじめに

食事のきほん

大きさに食べ物が違う？／動物の食べ物を決める 3 つの要素／肉を食べる動物／植物を食べる動物／肉も植物も食べる動物(雑食)／群れるか、群れないか／食べ物の好き嫌い

第一章 里の哺乳類

アカネズミ・ヒメネズミ／ハタネズミ／カヤネズミ／ニホンリス・エゾリス／アカギツネ／タヌキ／アナグマ／イタチ類／アライグマ／ハクビシン／ムササビ／ニホンモモンガ・エゾモモンガ／ニホンノウサギ／ニホンイノシシ／モグラ類／ヒミズ類／コウモリ類

第二章 山の哺乳類

ニホンジカ／ニホンカモシカ／ツキノワグマ／ヒグマ／ニホンテン・クロテン／オコジョ・イイズナ／ヤマネコ類／ニホンヤマネ／トガリネズミ類／カワネズミ／エゾシマリス／エゾナキウサギ／オオコウモリ／ニホンザル

第三章 様々な場所の哺乳類

アシカ類・アザラシ類／ジュゴン／クジラ類／ラッコ／カワウソ／イヌ・オオカミ／ヒト

コラム

毒！ 棘！ タンニン！ 植物の対抗作戦／動物を利用する植物／スペシャリスト・ジェネラリスト／貯食するか、体に蓄えるか／四季を生き抜く～いつ、どのように食べる？～／体の中に牧場？～反芻と糞食～／なわばりを持つ？持たない？／待ち伏せるか、追いかけるか／食べ物と歯の形／食べることで生態系／食べ物をめぐる人と哺乳類のかかわり／動物の食性を知る方法

【著者紹介】

著・南 正人(NPO 法人 生物多様性研究所 あーすわーむ)

京都府生まれ、宮城県の離島・金華山でシカの行動観察を 35 年間継続。軽井沢・浅間山で自然ガイドとして環境教育やクマのマネジメントにかかわる。元麻布大学教授。科学的な視点と生き物に対する共感を大切にしています。

著・福江 佑子供(NPO 法人 生物多様性研究所 あーすわーむ)

長崎県生まれ、2002 年より長野県在住。学生時代はタヌキの生態研究をし、現在はアライグマやハクビシンなどの外来哺乳類の対策など保護管理業務に従事。本書を通じて、哺乳類の視線で自然環境を見ていただきたいと思います。

著・永井 碧海(NPO 法人 生物多様性研究所 あーすわーむ)

千葉県生まれ、アメリカや北海道で自然ガイドや野生動物の調査・啓発の仕事を経て、現在はクマとの軋轢を防ぐ対策やシカの生態系被害の調査などに取り組む。『食事』というテーマから、哺乳類の世界に興味をもって

もらえたら嬉しいです。

イラスト・ちなきのこ

自然の生き物をモチーフに作家活動をしている。女子美術大学卒。イラスト、雑貨、ぬいぐるみなど様々な作品を制作。フィールドワークが好きで観察記録をつけている。野生動物の魅力や逞しさ、生態を伝える作品を目指しています。

【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心とした山岳・自然科学・アウトドア・ライフスタイル・健康関連の出版事業のほか、ネットメディア・サービスを展開しています。

さらに、登山やアウトドアをテーマに、企業や自治体と共に地域の活性化をめざすソリューション事業にも取り組んでいます。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社山と溪谷社 担当：手塚

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1900 E-mail: info@yamakei.co.jp

<https://www.yamakei.co.jp/>